



PDA 東海公立高校即興型英語ディベート交流大会（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2019年6月15日（土）10:30-14:30

会場：岐阜県立岐阜高等学校

参加者：生徒37名、教員11名、その他生徒見学者

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、名古屋工業大学、南山大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団

初めに、岐阜高等学校の折戸校長先生より、「チャレンジする気持ちを持った人がこれからの社会や世界を切り開いていきます。この交流大会では、それぞれの力を出し、切磋琢磨することでその力を高めてほしい。また、高校生のネットワークも広げてください。」とのメッセージが送られました。

次に、PDAディベート推進委員より、参加校の紹介や交流大会の説明、POIの練習などが行われました。開会式前は緊張していた様子の生徒たちも、元気よくPOIをすることで緊張がほぐれていました。



岐阜高校 折戸校長先生



POIの練習

そしていよいよ、第1ラウンドの開始です。1ラウンド目の論題は「Marrying at older age is better than marrying young. (早婚よりも晩婚のほうがよい。）」でした。準備時間になるとチームメイトと真剣な顔でブレインストーミング（アイデア出し）を初めて行きました。ディベートでは、経済的安定が重要であることや出産のリスクなど様々な視点から議論が展開されました。ディベートが終わるとお互いの検討を称え合い、握手が交わされました。ジャッジのコメントも真剣にメモを取りながら聞き、次のディベートに活かそうとする姿勢が見られました。



1 ラウンド目 岐阜 vs 岡崎



ディベート後の握手

ジャッジの先生からコメントをもらうとすぐ2ラウンド目が始まりました。2ラウンド目の論題は「Celebrities who got accused of drug scandals should not be allowed to be back on mass media. (薬物依存になった有名人は復帰すべきでない。)」でした。



2 ラウンド目 準備時間 静岡 vs 岡崎



2 ラウンド目 岡崎 vs 四日市

2ラウンド目では1ラウンド目にジャッジから受けたアドバイスをもとに、準備時間にPOIを用意したり、復帰すべきでない(復帰すべきである)のは誰の利害のためなのかを考えてスピーチをしたり、復帰したときとしなかったときの差を明確化しようとしていたりしていました。ディベートでは、有名人の持つ影響力や、薬物依存への認識の変化、経済への影響などの観点から議論しました。ラウンド終了後、ジャッジの先生がコメントを始めるまでの間、相手チームと部活は何か、何を意図したPOIだったのかなどを話すなど他校と交流する様子が見られました。

2ラウンド目終了後は昨年の優勝・2位・3位の高校からトロフィーの返還が行われました。



2 ラウンド目 四日市 vs 岐阜

ディベート後の交流 岡崎 vs 四日市

2 ラウンド目終了後は昼食時間です。他の高校の生徒と一緒にディベートや学校生活について議論しながら食事を取りました。



昼食の後は、各高校から選抜された生徒 6 名によるエキシビジョンディベートです。論題は、「It is better to have a two-dimensional boyfriend/girlfriend than having a three-dimensional one. (彼氏彼女を作るなら、三次元よりも二次元がよい。)」でした。エキシビジョンディベートを聞いている生徒もジャッジの練習のつもりでフローシートに前で話している生徒のスピーチのメモをとりました。笑いが起きたり、活発に POI を交わしたり、とても白熱した議論となりました。



エキシビジョンの様子



エキシビションの様子

表彰が終わり、再び岐阜高校校長の折戸先生からコメントをいただきました。「みなさんにとって今日は有意義でしたか？なぜ有意義だったのでしょうか？有意義だったと感じるならその理由を考えることが重要です。今後も大学で会うことがあるかもしれない仲間です。今日できたつながりを大事にしてください。」とご感想をいただきました。次に、静岡高校校長の志村先生からコメントをいただきました。「みなさんがどう成長するのかを楽しみにしています。昨年の東京大学で開催された全国大会でも年金の受給年齢引き上げの論題に関して、限られた準備時間でさっと意見をまとめている姿に感銘を受けました。全国大会など今後みなさんと会う機会を楽しみにしています。」とエールが送られました。四日市高校校長の松岡先生からは、「もし今日もどかしさを感じたらそれがもっとも意味があったことだと思います。お疲れ様でした。」と労いの言葉をかけられました。

最後に全員で集合写真を撮り、東海公立高校即興型英語ディベート交流大会の幕が閉じました。



岐阜高校 折戸校長先生



静岡高校 志村校長先生



四日市高校 松岡校長先生

生徒の声（アンケートより抜粋）

- 同じ年の人でここまですごい人がいるということはこの大会で見ることができたし、そういう人たちとディベートすることでとても刺激を受けました。とてもいい経験になったと思います。【四日市】
- ドキドキしたからとても楽しかった。【岐阜】
- とても楽しかったです。難しいことも多かったので、すごくやりがいを感じました。もっと新聞とかテレビを見て自分の知識を増やした上でディベートをしたらもう少し焦らずできたかなと思いました。【四日市】
- 交流したチームの人々や他校の人とも仲良くなれてとても充実した時間が過ごせました。【四日市】
- ディベートをすると英語力だけでなく社会に対する思考力も養われると感じたのでこれからも続けたいと思いました。来年も参加したいです。【岡崎】
- 学校でも実施されるといいなと思います。本校ではまだ行われておらず、ディベートは1人ではできないのもっと学校で行われることを願います。【岡崎】
- 英語で文章を書いたり、みんなで地元の話や英語について語ったりして、とても良い思い出になった。【岡崎】
- 今まで全く使ってこなかった表現やアイデアをたくさん共有できてよかったです。何回も練習すればもっともっとできるようになりそうなので、機会があれば。【静岡】
- 他校の生徒と話したり、ディベートを聞けたりしたところが楽しかった。自分のディベートでもいろいろな主張があって、考えるのが面白かった。【岡崎】
- とにかくいろいろな面でハイレベルな交流大会だったように思う。もっと英語の力を伸ばすために次回もぜひ参加したい。【岡崎】
- 次までもっと物事を論理的に考えてさらに新聞を読んでもっと見聞を広めたいと思います。【岐阜】
- ものすごく貴重な経験ができました。昨年も参加したのですが、その時に他校のスピーキング能力に圧倒されてしまい、相手の言っていることが理解できなかったという記憶が強く、今日のディベートは本当に緊張というより恐怖で手が震えるほど不安でした。でも1回目のディベートでだいぶ感覚がつかめて、2回目は落ち着いてできました。やはり他校の話し方には魅了されましたし、完全に論点を理解できた訳ではありませんが、刺激を受け、今後のモチベーションに繋がります。【静岡】
- いろいろな人と交流でき、自分の能力の向上がはかれた。【岐阜】
- 流れがよく考えられており、初心者から経験者まで楽しめる会でした。また、他校の皆さんと交流することでモチベーションの向上につながっていると思っています。【教員】
- このような交流大会は高校生にとっても大切な経験になると感じました。いろいろな意味で人間の幅を広げる重要な機会となっています。【教員】

エキシビジョンディベートに出られたみなさん

- PM _____ [岐阜]
 MG _____ [岐阜]
 PMR _____ [四日市]
 LO _____ [岡崎]
 MO _____ [岐阜]
 LOR _____ [静岡]



POI 賞

- _____ (岡崎 B)
 _____ (四日市 B)
 _____ (静岡 B)
 _____ (四日市 A)
 _____ (静岡 A)
 _____ (岡崎 B)
 _____ (岐阜 A)



ベストディベーター賞

- _____ (岐阜 A)
 _____ (静岡 A)
 _____ (岐阜 B)
 _____ (岡崎 A)
 _____ (岡崎 A)
 _____ (岡崎 B)
 _____ (静岡 B)



ベストチーム賞

- 1位 岐阜 A
- 2位 岐阜 B
- 3位 静岡 B
- 4位 四日市 A
- 5位 岡崎 B

